



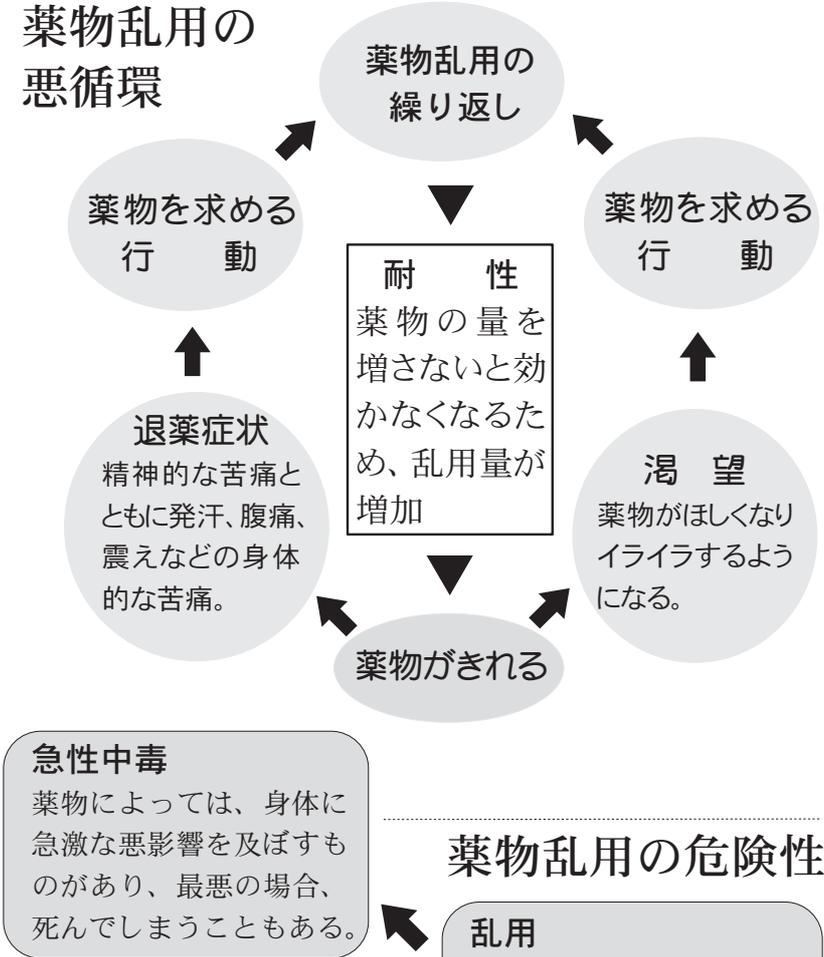
苦小牧警察署から
「薬物を常用するきっかけは甘い言葉からです」と話
す 早来駐在所の佐藤吉博所長

は『ダイエットの薬があるけど、試してみないと誘われて取り返しがつかなくなつた事例を何度も扱ってきたとい
います。特に覚せい剤は幻覚により意味不明な言動が顕著に現れます』とのこと。
「恐怖心を克服するため、さらに薬物を求め、凶悪犯罪に発展することになります」と薬物の恐ろしさを真剣に語り

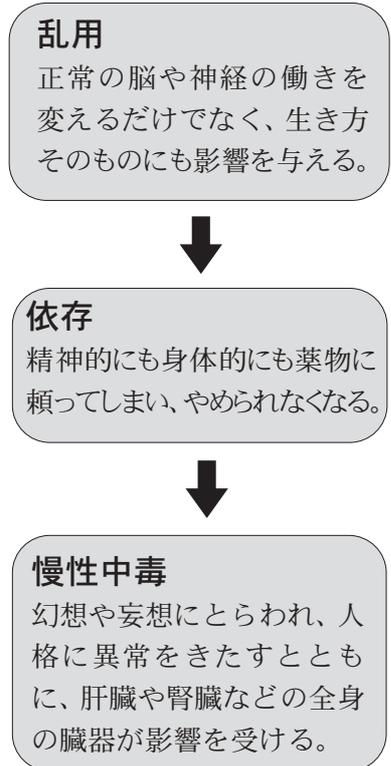
ます。
また、安平町は野生大麻が自生していることも気になるという佐藤所長は「まず野生大麻を見つけたときは保健所に呼びかけ、「違法薬物の乱用を防ぐには、各人が断る勇気を持つことですね」と犯罪撲滅に向けての心構えを話して

第1次覚醒せい乱用期：軍部からの流出と国内密造。敗戦で荒廃した社会にヒロポン大流行。罰則強化・徹底取締り・国民運動展開により沈静化。
第2次覚醒せい乱用期：暴力団の資金源として密輸・密売、青少年の乱用と中毒者の凶悪犯罪。徹底取締りにも完全に沈静化せず。
第3次覚醒せい乱用期：暴力団に加えイラン人等密売組織の街頭や携帯電話による販売、中・高校生のファッション感覚による乱用急増。

薬物乱用の悪循環



薬物乱用の危険性



相談は 安心ダイヤル # 9110

9月11日は「警察相談の日」

警察では、身の回りにおける不安な出来事など生活の安全に関する幅広い相談に応じています。

緊急の**事件・事故の通報は「110番」**へ

緊急の**事件・事故以外の相談は「# 9110」**へお掛けください。一般加入電話、携帯電話、PHSからもご利用いただけます。また苦小牧警察署ホームページでは、警察署以外の相談窓口も掲載していますので、ホームページ内の「警察相談」のコーナーをご覧ください。

お願い！警察では、災害発生時にパトカー等で避難・誘導を行ないますので、ご協力をお願いします。災害に備え避難経路や避難場所を確認しておきましょう。詳しくは苦小牧警察署のホームページをご覧ください。

苦小牧警察署 ☎ 0144 - 35 - 0110

ホームページ <http://www.tomakomai-syo.police.pref.hokkaido.jp>

資料：平成20年北海道警察本部
少年課参照